

12 保管方法

使用後

- ①チェーンとゴムバンドの汚れを水で洗い流します。
- ②乾いた布で水分をよくふき取り、日陰で乾かします。
- ③下記「使用限度」をご覧になり、各部に異常がないか点検します。
- ④収納ケースに入れ直射日光を避け、高温・多湿にならない場所に保管します。



注意

夏季の車のトランク・野外のスチール物置などの保管は高温になるので絶対に避けてください。チェーンネットの変形・変質の原因になります。

13 使用限度

1項目でも異常がある場合は使用できません。このような場合、新しい製品をお買い求めください。

- ネットに1ヶ所でも亀裂が発生している場合
- ネット表面が50%以上磨耗している場合
- スパイクピンが2ヶ所以上脱落している場合
- ロック部に傷・損傷・錆びなどが発生した場合
- ゴムバンドに1ヶ所でも亀裂や損傷が発生した場合
- 使用の有無に関わらず、購入から5年経過した場合

14 補修部品・修理

● 下記部品は販売店舗にてお取り寄せ可能です。

※チェーンの部分的な破損については、修理が可能です。販売店・弊社へお問い合わせください。

(ネットの連続切断・空転による“ささくれ状”の磨耗は修理不可)

部品名	チェーン品番	発注品番	数量
ゴムバンド	FB01・FB02・FB03・FB04・FB07	175	1セット/4本入り
	FB05・FB06・FB08・FB09	190	
	FB10・FB11	205	
	FB12・FB13・FB14・FB15	220	
バンドフック	全品番共通		1個
フッカー	全品番共通		1本

15 性能について

この商品は(財)日本自動車交通安全用品協会の非金属タイヤチェーン規格JASA432が規定する次のような性能基準を満たしています。

- 「制動性」・・・冬期用スタッドレスタイヤとの対比で圧雪路の場合105%以上、氷盤路の場合120%以上の制動性を持っています。
- 「登坂性」・・・圧雪路が12%、氷盤路が8%の勾配を途中発進したとき、滑らかに登坂できる登坂性を持っています。
- 「耐久性」・・・600kmの融雪、圧雪路の走行を行っても破損、スパイクの脱落及び各部に異常が生じない耐久性を持っています。
- 「材質」・・・ポリウレタンエラストマー、超硬マカロニスバイクを採用しています。

商品に関するお問い合わせは 修理および補修部品については販売店・弊社までお問合せください。

CHUHATSU 中発販売株式会社
http://www.chuhan.co.jp/

〒457-0066
名古屋市南区鳴尾2丁目114番地
TEL 052-614-3653

※商品の仕様及び外観は予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

22-NC

ご使用前に必ずテスト装着を行ってください。



取扱説明書

この取扱い説明書は大切に保管してください。

重要 必ずお読みください! ー安全についての情報ー

ご使用前に承諾していただく必要があります。

本書は本製品を正しくご使用いただく方法を説明したものです。ご使用前に必ずお読みください。

この商品は雪道で自動車のタイヤに取りつけて使用する補助具です。

使用方法や自動車の運転方法によっては、死亡事故や物損事故が発生する危険性があり、本書の内容を守らなければ、製品の破損やお車への傷付き、他の方々への危害など、重大な事故につながる恐れがあります。

注意事項を厳守し、状況変化に対応できる安全運転を行っていただく事が絶対必要です。

免責事項 誤った取付けや、50km/hを超える速度での運転・無理な運転操作による事故・車両破損などについては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1 この説明書内のマークについて



警告

この表示を無視して、誤った取扱い行為をすると人が死亡や重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱い行為をすると物的損害や人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。



厳守

製品を正しく取扱うために、必ず実行していただく強制内容を示します。



ポイント

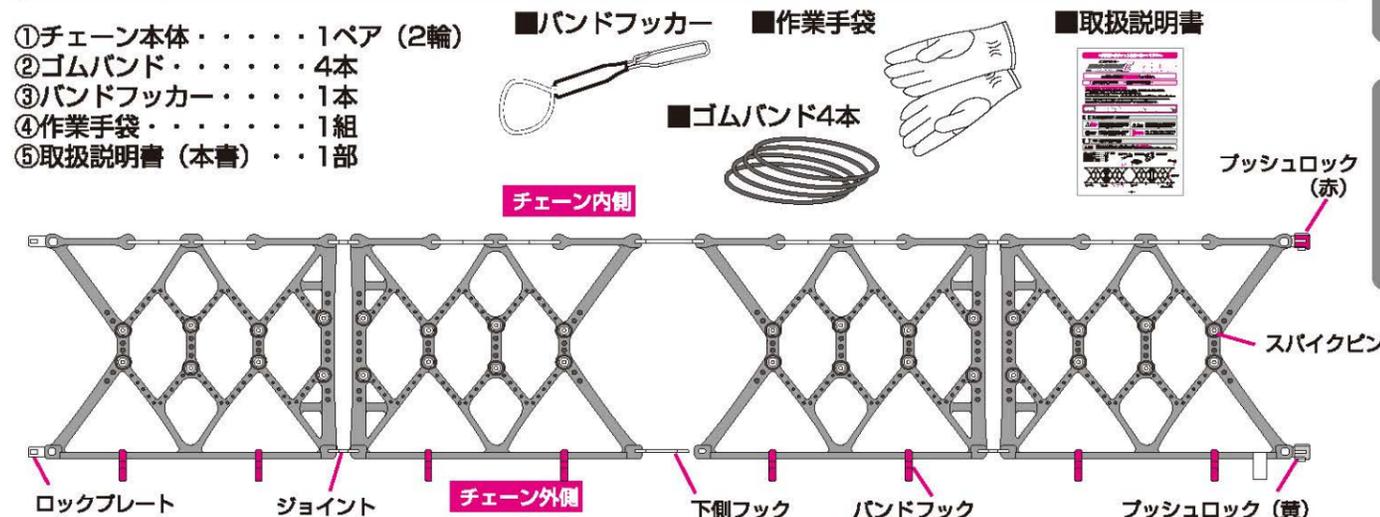
チェーンの装着、取外しの作業の中で特に重要なポイントを示しています。

2 セット内容と各部の名称



注意

開封されたらまず下記のパーツが全て揃っているか、必ずご確認ください。商品検査には万全の注意をしておりますが、万が一欠品などありましたら販売店・弊社へご連絡ください。



取りつける前に

※必ずテスト装着を行って下さい。



車の取扱い説明書をお読みください。

●ご使用の車種によって雪道走行やチェーン取り付け時の注意事項は異なります。



このチェーンは乗用車及び、小型RV車専用設計です。

●小型トラック・商用車には絶対に使用しないでください。無理に使用されるとチェーン破損や事故の恐れがあります。
●RV (4WD) 車であっても、本製品の適合表にサイズの記載があればご使用いただけます。

乗用車	ステーションワゴン	ミニバン	小型RV車	大型4WD	1BOX車 ※商用1BOX車を除く	トラック

*車種によっては取り付けできない車もあります。正確な情報は販売店・弊社にてご確認ください。

このチェーンは一般タイヤ専用です。

●下記のタイヤには使用できません。

■スパイクタイヤ ■オフロード専用タイヤ (タイヤブロックが大きいもの)

チェーンは必ず駆動輪に取りつけてください。

●ご使用になる車種によって駆動輪は異なります。あらかじめ車の説明書などでご確認ください。

FF車
前輪に



FR車
後輪に

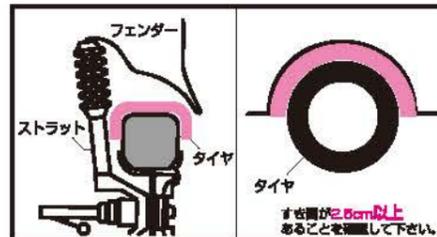


4輪駆動車
車種によって異なります。
車両の取扱説明書に従って
ください。



タイヤと車体のすき間 (クリアランス) が 2.5cm以上ないと装着できません。

●走行中にチェーンが車体と接触し、チェーン破損やそれともなう事故の恐れがあります。
●前輪に装着する車種はハンドルをいっばいに切った状態で確認してください。
●ABS装着車はセンサーが破断する恐れがあります。すき間 (クリアランス) が2.5cm以上あることを確認してください。
●純正サイズ以外のタイヤ/ホイールや、タイヤ周辺に純正以外の部品を使用されている場合には特に注意し間隔を調べてください。



高速走行した場合、過心力によってチェーンがタイヤから浮き上がった状態になります。この過心力はタイヤの外側方向、車方向に大きくみくらむため右側のすき間を確認してください。

タイヤの空気圧を確認してください。

●チェーンが装着しづらくなったり、チェーンの耐久性低下やタイヤの傷つきが多くなる場合があります。

アルミホイール装着車

●ホイールの形状によってはチェーンが接触し傷が付くことがあります。

ホイールキャップ (カバー) は取外してください。

●走行中にチェーンと接触し傷が付くことがあります。

タイヤが摩耗することがあります。

●チェーンを取りつける事によって、タイヤとこすれて磨耗する場合があります。特にスタッドレスタイヤは必要最小限のご使用にとどめる事をおすすめします。

チェーン取り付け・取りはずし



作業は安全な場所で行ってください。

●指定の着脱場、または平坦で安全な場所で行ってください。

作業後に、各部品が正しく装着されているか確認してください。

●不完全な取り付けのまま走行すると、十分な性能を発揮しないばかりか、チェーン破損や事故の恐れがあります。

片輪装着・左右異種チェーン装着の禁止。

●左右が異なる状況での走行は、走行安定性が低下して大変危険です。



バンドフックやプッシュロックをタイヤで踏まないでください。

●これらの部品をタイヤで踏むと変形や破損して使用できなくなる場合があります。

扁平タイヤは特に注意が必要です。(55・50・45シリーズ)

●扁平タイヤに装着するには以下の点に注意してください。

■取り付け/取りはずし

チェーン同サイドの金具 (バンドフック/プッシュロック) をタイヤで踏みやすくなります。

特に取りはずしの車両移動時には注意が必要です。

■取り付け後の位置調整

取り付け後にプッシュロックをタイヤで踏み込まないように、チェーンの位置を調整してください。



取付け後は100mほど徐行運転をおこなってください。

●正しく取付けできているか確認するため、車をゆっくりとスタートさせます。接触など異常があれば、取付けをやりなおしてください。

必要のない時は取りはずしてください。

●粉塵公害防止のため、雪の無い路面ではこまめに取りはずしてください。つけっぱなしはチェーンやタイヤも傷める原因となります。

取り付け後の走行について

タイヤチェーンを取りつけても万全ではなく、周りの状況にあわせて慎重な運転操作を行っていただく必要があります。



警告



速度50km以下厳守

必ず時速50km/h以下で走行してください。

●50km/hを越える速度で走行するとチェーンが過心力で膨らみ、車体と接触する恐れがあると共に耐久性を著しく低下させ、早期破損の原因となります。



空転禁止

空転 (ホイールスピン) は絶対に避けてください。

●空転 (タイヤの空回り) を行うとチェーンに無理な力が加わり、早期破損の原因になります。



急発進・急加速・急ブレーキ・急ハンドル

急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの操作は危険です。

●チェーンのトレッドやスパイクの寿命を著しく低下させ、早期破損の原因になります。



急発進

急加速

急ブレーキ

急ハンドル



車間距離

十分に車間距離を保って走行してください。

●雪道では著しく制動距離が長くなり、道路状況によって大きく変化します。車間距離を十分に保ち、安全運転を心がけてください。



注意

急激な運転操作を行ったり異常音が発生した場合、必ず装着状態を確認してください。

●異常が考えられる場合は安全な場所まで徐行し、チェーンの状態を確認してください。

●破損のある場合は徐行して安全な場所まで移動したのち、使用を中止してください。(8ページの「使用限度」で確認)

1BOX・ミニバンは雪道が苦手です。

●乗用車に比べてエンジンなどの重量物が前寄りに集中しており、車体の重心も高いことから、走行バランスが崩れやすい傾向にあります。また、乗車人数によっても走行特性が変化しやすいので特に注意が必要です。



ABS装着車は注意が必要です。

●ABS (アンチロックブレーキシステム) はブレーキ操作時のタイヤロックを防止し、制動力や車体姿勢を制御する装置です。しかし、滑りやすい路面ではかえって制動距離が長くなる場合がありますので、特に注意してください。

走行のポイント

雪道走行は危険が多く、チェーンを装着しても走行安定性が低下してしまいます。車の駆動方式や種類によって、走行時の注意ポイントが異なります



ポイント1 発進操作

●スタート時はゆっくりとタイヤを転がすようなイメージで発進させます。AT車ではクリーピング (アクセルを踏まなくても動く状態) を長めに使用すると空転せずに発進できます。



空転 (ホイールスピン) は絶対にさせない!



ポイント2 坂道

●坂道での発進・加速はもっとも空転しやすくなります。平坦路より慎重なアクセル操作を行ってください。



アクセル操作を慎重に



ポイント3 制動 (ブレーキ操作)

●雪道では著しく制動距離が長くなります。車間距離を十分に保って走行してください。エンジンブレーキを十分に使用し、ブレーキペダルの操作は断続したポンピングブレーキ (踏む⇒踏む) が基本です。



エンジンブレーキ + ポンピングブレーキ



ポイント4 わだちにご注意

●わだち (路面の凹凸) ではハンドルを取られやすいので、慎重に操作してください。高い速度で走行中、盲道路であっても急に横滑りすることがあります。高速道路などは特に注意が必要です。



横滑りに注意



ポイント5 チェーン取付けタイヤが前輪と後輪で、車の動きが大きく異なります

前輪に取付け

●チェーンを付けていない後輪が大変滑りやすく、下り坂やカーブ・ブレーキ操作時に後輪が横滑りする危険性があります。



後輪に取付け

●チェーンを取り付けていない前輪が大変滑りやすく、ブレーキやハンドル操作が効きにくくなり危険です。特に下り坂では前輪が滑って外側に大きく膨らむ危険性があります。



7 作業の前に 正しくスムーズに装着するため、装着前にご確認ください。

チェーンをひろげる
折りたたんであるチェーンを広げ、ネットをつないでいるジョイント部分をまっすぐ伸ばします。

プッシュロックの操作

■つける
①シートベルトの要領で差し込みます
②引っ張って外れないか確認してください

■はずす
①先端を指で押さえます
②両方を軽く寄せます
③押さえながら引っ張って解除します

カチッ

8 取り付け方法 ※製品には鋭利な部品がありますので必ず作業手袋をご使用ください。

1 巻いてあるチェーンを広げ、スパイク面を上、プッシュロックを先頭にしてタイヤの裏側にまわし込みます。

最初にチェーンの表を上向けますが手順通り作業を終えるとスパイクは地面側になります。

スパイク面が上!

プッシュロック(黄)

プッシュロック(赤)

ロックプレート

取付け動画で確認ができます。
スマートフォンのカメラでQRコードを読み取ってください。
通信やサーバーの状態により、接続できない場合があります。

上から見た図
まず、チェーンの半分をタイヤの裏へまわし込みます。

端を引き出す

2 チェーンの両端を持ち、タイヤにそわせるように持ち上げます。

ポイント チェーンをやや奥へ押し込んで少し“ゆすり”ながら持ち上げるとスムーズに持ち上がります。

プッシュロック(赤)

ロックプレート

めくり上げるようにもちあげます。

3 タイヤの上部でプッシュロック(赤)を接続します。

プッシュロック(赤)

スパイクが上になっているか確認しましょう

プッシュロックの接続

カチッ

厳守 ロック後に、引っ張って外れないか確認します。

4 接続したプッシュロック(赤)をタイヤ奥へ落とし込み、チェーン下側を手前に強く引き出します。

① タイヤ奥へ

② 手前に強く引き出す

タイヤに対して斜めになるようにすれば、下側フックの作業が楽になります。

5 最初に下のフックを接続します。

手前に強く引き出す

フックがとどかない場合は手順④の作業不足です。

6 上部のネットを強く引き出し、プッシュロック(黄)を接続します。

プッシュロックの接続

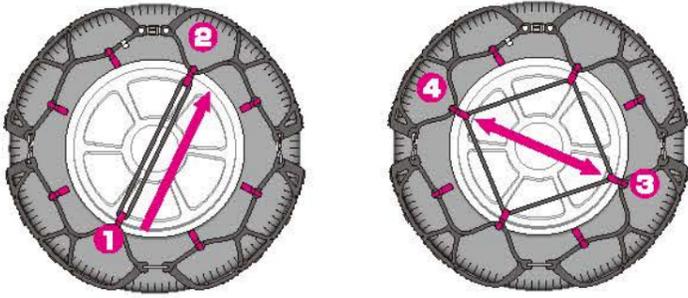
カチッ!

取り付け方法

取り付け方法

7 赤いバンドフック全てにゴムバンドを片輪2本ずつかけます。

まず、番号の順に手でかけます。



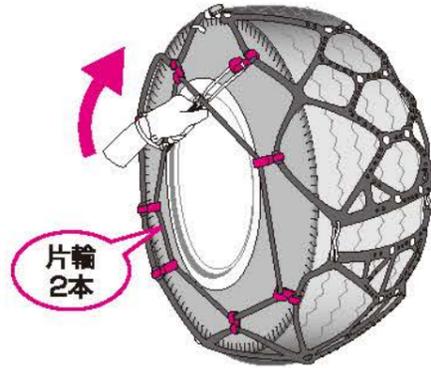
注意

ゴムバンドは8ヶ所全てのバンドフックに片輪2本ずつかけます。かけ間違いは、遠心力でチェーンが膨らみ、車体に接触するなど、破損・事故の原因となります。

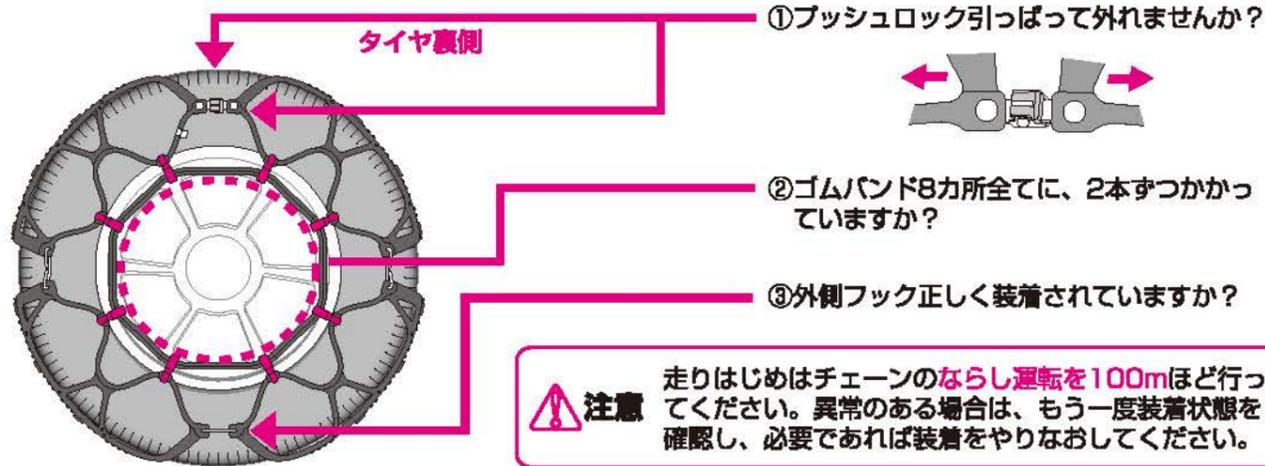
フッカーを使用し、残りのバンドフック全てにゴムバンドをかけます。



ポイント 危険防止のため、フッカーについているゴム輪に手を通し、黒の柄の部分をしっかり握ってご使用ください。



8 装着完了 (各部のチェック) **厳守** 正しく装着できているか3つのポイントを確認してください。



9 チェーン破損原因

非金属チェーンは次のような場合に、破損・切断を生じやすいので特にご注意ください。

※このような場合補償対象外となりますので予めご了承下さい。

ワースト1

50km/hを超える走行

●50km/hを超える速度で走行するとネットが遠心力で膨れ上がり、部分的に磨耗して寿命が短くなったり、ひどい場合は切断してしまいます。



ポイント

高速道路は特に注意が必要！必ず50km/h以下の走行を厳守してください。

ワースト2

空転での破損

●一般走行と同じ様なアクセル操作を行うと、タイヤが空回りしてチェーンに無理な力が加わり、ネットが切断します。



ポイント

発進時はアクセル操作を通常の半分程度に！

ワースト3

滑脱が原因の破損

●取り付けに問題があるためにチェーンがはずれたり、車体に接触して破損する場合があります。
●取りはずし時にチェーンの部品をタイヤで踏んでしまうと、変形したり破損する場合があります。
●タイヤの空気圧不足により、ネットが早期に破損する場合があります。

ポイント

取り付け前後のチェックは念入りに！タイヤの空気圧もあらかじめ確認しておきましょう。

10 こんなときには (Q&A)

現象	原因	ご確認事項	参照	
取付について	取付けられない	適合品番の確認 タイヤ空気圧 ホイールリム幅	ケースの品番と、ご自身のお車のタイヤサイズをご確認ください。(スタッドレスタイヤは品番が異なる場合があります) 自動車メーカー指定圧に満たないと、タイヤの地面部分が膨らみ、装着しにくくなります。 適合サイズは純正リム幅を基準にしています。純正よりも太いリム幅の場合、タイヤが太くなり、装着しにくくなります。	2P
	下側フックがとどかない	地面の凹凸 外側プッシュロック(黄)確認	雪や石など、タイヤ接地面付近の装着に邪魔になりそうな物を排除するか、平地に移動してください。 外側のプッシュロック(黄)を外し、下側フックを先に行います。	-
	上側ロックがとどかない	チェーン引出し不足	ご自身の体重をかけるようにタイヤ外側へチェーンを引出してください。新品時は少しかために感じられますが、1度装着されればチェーンがタイヤへフィットし、2回目以降の装着が楽になります。	5P
走行	走行中に異音	クリアランスの確認 チェーンの状態 速度の確認	タイヤの周りとのすき間(クリアランス)が2.5cm以上あるか確認してください。車体との接触が発生している場合、使用を中止してください。稀にフェンダー内部に雪がたまる事があります。チェーン破損の原因にもなりますので、排除してください。 内外ロックの状態や、ネット部分に切れがないか「使用限度」にてご確認ください。 必ず50km/h以内にて走行してください。速度を下げて異音が収まる場合は安全な場所に停止し、チェーンに異常が無いかご確認ください。	2P 8P 2~3P
	取外し	内側ロックが外れない	ゴムバンドと外側フック、外側ロックを外し、緩んだチェーンをタイヤ裏へ十分に落とし込みます。	7P
	破損	チェーンが壊れた ゴムバンドの損傷	タイヤで踏んで壊れてしまった ネットが切れた スパイクが抜けた 切断・亀裂などの異常	部品類は有償にて修理可能です。販売店・弊社までお尋ねください。 速度超過・空転など、無理な走行を行ったり、使用限度で破損する部分です。ご使用を中止し、新しい商品をお買い求めください。8P→使用限度参照の事 ゴムバンドは消耗品です。損傷したら使用を中止し、新品に交換してください。

11 取りはずし方法

